

大泉

新年明けましておめでとうございます

校長 中岡 盛一

皆様はどんなお正月をお迎えになつたでしょうか。今年も教職員一同一丸となつて、教育目標の具現化に向けて教育活動を進めてまいります。御協力と御理解の程、宜しくお願いいたします。

さて、AI（人工知能）の話が最近頻りに出てくるようになり、プロ棋士との対局や車の自動運転のニュースをよく見ます。その中で、現在の小学生が就く仕事について述べている文を目にしている方も多いかと思ひます。

イギリスのオックスフォード大学のオズボーン教授は、今後十年から二十年程度で現存している半数近くの仕事が自動化される可能性がある」と述べています。また、アメリカのデューク大学のデビッドソン教授によると、現在の小学生の六十五％は将来、今の時代になく職業に就くだろうと指摘しています。

なくならない仕事の特徴は、野村総合研究所の共同研究によると、芸術や哲学、人文学というような抽象的概念を扱うものや、対話や相手の感情を読み取るというような、社会的行為としてのコミュニケーションを必要とする職業とのことです。各種デザイナー、各種カウンセラー、医師・看護師、弁護士・裁判官、教員・

< 発行 >
練馬区立大泉小学校
< 所在地 >
練馬区東大泉 4-25-1
TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



保育士、美容師等多くの職業が該当するそうです。

このように近未来社会で子供たちが生活するために、知識・技能の獲得だけでなく、全人的な発達を目指して、知・徳・体バランスよく育てようと考えています。給食、掃除や生活指導（あいさつ、礼儀や友達のかかわり方等）にも力を入れていきます。特に、AIが取って代われない「人間としてよりよく生きようとするために必要な、判断力、心情、意欲、態度等」を育てることを重視しています。

十二月九日に実施しました持久走記録会でも、タイムはもとより、「最後まで走り通すことにより、頑張る心を育てる」「持久走旬間の成果を試し、自己に挑戦する」をねらいとしています。さらに、友達同士励まし応援することも指導しました。神奈川県の高校野球部監督のインタビュ記事を読みました。それによると、学生時代コーチとして入ったチームに元プロ野球の選手がいて、選手に助言することは技術面より、「最後まであきらめない」「道具を大切にしろ」等気持ちの面が多かったが、選手たちが練習に意欲的になつて驚いたと書いてありました。

人間だからこそ出来ること、人間しか出来ないことが、仕事として求められる時代が来るのかもしれない。学校で子供たちに、人の気持ちに分かり、上手に関わる力やあきらめない粘り強い力を付けていきたいと思ひます。

1月の行事予定

- 7日(日) 冬季休業日終
- 8日(月) 成人の日
- 9日(火) 三学期始業式
安全指導・点検
特別時程4時間授業
(給食なし)
- 10日(水) 給食始
- 11日(木) 身体計測(6)
- 12日(金) 委員会活動
- 13日(土) 身体計測(24)
- 14日(日) 土曜授業日
- 15日(月) 3時間授業
- 16日(火) 道徳授業地区公開講座
校内書き初め展始
- 17日(水) 身体計測(3)
- 18日(木) 身体計測(1)
- 19日(金) 避難訓練
- 20日(土) 4時間授業
- 21日(日) クラブ活動
- 22日(月) 社会科見学(5)
- 23日(火) 社会科見学(4)
- 24日(水) 社会科見学(4)
- 25日(木) 3時間授業
- 26日(金) 五組研究発表
- 27日(土) 28日(日) 連合書き初め展
- 28日(日) 連合書き初め展
- 29日(月) いじめ調査
- 30日(火) なわとび月間終
- 31日(水)



《1月の生活目標》 「こぼれかけに 気をつけましょう」

新学期が始まりました。今月は言葉づかいに取り組みます。

言葉はほんの一言で人を喜ばせたり、励ましたりする大きな力をもっています。その反面、人を悲しませたり、傷つけたりする力ももっています。言葉はナイフよりも鋭い。と言われることもあります。だからこそ、どんな相手に対しても思いやりの気持ちをもち、話すことがとても大事になってくるのです。

学校では、言われた時にあなたがい気持ちになる言葉を「ホカホカ言葉」、逆に言われた時にいやな気持ちになる言葉を「イガイガ言葉」として、日常的に意識づけるように指導をしています。

言われた相手があなたがい気持ちになるように「ホカホカ言葉」を意識的に使うことで、みんなが気持ちよく過ごせるようにしていきたいと思ひます。

学校だけでなく、ご家庭でも「ホカホカ言葉」を意識的にたくさん使っていけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、相手に「やさしく、気持ちの良いことばづかい」にはどんな言葉があるだろうかということについて、ご家庭でも一緒に考えていただけるようご協力をお願いいたします。

(藤澤 照子)

道徳授業地区公開講座

一月十三日に道徳授業地区公開講座を開催します。この講座は、道徳の授業を保護者や地域の方々に広く公開し、学校における道徳のあり方や家庭・地域社会との連携について、相互の理解を深めることをねらいとしています。学校における道徳教育は人が一生を通じて追求すべき人格形成の根底に関わるものであり、その目的は一人一人が自己の生き方の指針をもてるように支援することです。自己の生き方は、人から与えられるものではなく、生きてく過程で様々な体験や経験を通して、自己への問いかけ、迷いながらも自分にとって最善の指針を見つけていくものです。本校ではその役割を担うべく日々の教育活動を通して道徳教育に取り組んでいます。また、来年度からは道徳は「特別の教科 道徳」となります。児童に教科書が配布されることになり、学校全体でより一層、道徳教育を充実させていきます。

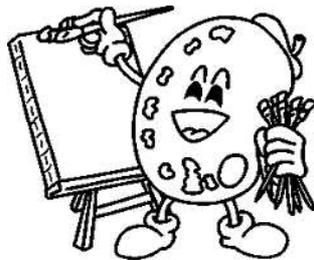
当日、二校時の授業公開では、「豊かな心を育む」のテーマに基づいて授業を行います。授業をきっかけとして自己を見つめ直し、よりよい生き方を指すきっかけとなるように指導していきます。また、三校時には落語家の桂 扇生さんの講演会も予定しています。-わらって たのしく-のテーマで講演していただきます。落語を通して努力することの大切さや、夢をもつことのすばらしさなどを子供達にお話していただけたらと思います。是非当日は多数の保護者の皆様に参加していただきたいと思いますので、ご都合がよろしければお越しください。

(立田 康徳)

練馬区連合図工展

一月二十日(土)～二十五日(木) 開館午前10時～閉館午後六時 最終日は十二時で閉館 休館日二十三(月)の期間、中村橋にある練馬区立美術館二階展示室において練馬区小学校連合図工展が開催されます。

「こうしたい」が生まれるところ」をテーマに、区内全小学校の児童作品が広い展示会場にとりこせましと展示されます。「こうしたい」とは、授業の中で子供が自ら感じ、考え、思い付いたことをいきいきと表現している様子です。会場では、児童が心をこめて一生懸命取り組んだ絵や立体、共同作品でみちあふれ、児童のエネルギーでいっぱいになります。



本校からも一年生から六年生、五組の児童の絵や立体作品、共同作品を出品予定です。また、たくさんの学校の特色を生かしたテーマや表現の違いも見所の一つです。

多様な表現のよさや違いを楽しむことができる練馬区連合図工展には是非足を運んでいただき、子どもが「こうしたい」と主体的に活動した様子がわかるような「豊かな子どもの世界」を堪能して頂ければと思います。

(河村 泰正)

書き初め展

書き初めは、平安時代の宮中で新年に墨と筆で詩歌などを書いていた行事が、江戸時代に寺子屋を通して、一般的に広まったと言われています。事始めと言われる一月二日に、心穏やかに一年の抱負や願いを毛筆で書くこと、上達が早く長続きする、という言い伝えがあるとされています。近年では、その風習が薄れつつありますが、学校で書き初めに取り組みむことを機に、日本の伝統行事についても知ることができればと思います。

一、二年生と五組は硬筆、三年生以上は毛筆に取り組みます。今年度の題材は「美しい心」、四年生「流れる星」、五年生「進む勇氣」、六年生「新たな決意」です。

それぞれの学年にそった目標はありますが、全学年共通目標である「文字を正しく整えて書く」ことを目指して、筆の持ち方や姿勢、文字の止め、はね、払い、折れ、結び、筆順などを中心に指導していきます。

本校では、一月十三日(土)から二十六日(金)まで、校内書き初め展を開きます。各教室前の廊下に掲示しますので是非ご来校の際にご鑑賞いただき、子どもたちに励ましの言葉をかけていただけましたら幸いです。

また、一月二十七日(土)、二十八日(日)には、練馬区立美術館二階にて、練馬区小中学校連合書き初め展が行われます。本校からも、各学年の代表児童の作品が展示されます。是非、お出かけください。

(山中 麻衣)

一年生の様子

入学から間もなく九ヶ月。上級生に比べると、まだまだ幼い表情の一年生ですが、一人一人を見ると、確実に大きくたくましく育っています。これまでの一つの経験と、それに伴う思いや、周囲の支え、励ましが積み重なってきたものと思っています。

二学期は、運動会と学芸会という大きな行事がありました。どちらも、めあてに向かって楽しみながら、全力で取り組みました。今でも、「大江戸ダンス」「おたまじゃくしの10ちゃん」の曲やセリフを耳にすると、笑顔で踊ったり、歌ったり、劇を始めたりする姿は、ほほえましい限りです。

また、保育園と五組との二つの交流活動も、子供たちの心の成長に大きくかわりました。保育園児が安心して活動できるようと、事前に様々な準備をし、当日は自分ができることを考えて、声をかけたり、教えたりして、緊張感をもちながらも、優しく接していました。

五組のみんなと一緒に、テラコッタの鉢作りをした際は、一年生も五組のみんなも仲間として自然にかかわる様子が見られました。同じ場所、少し堅めの土に誰もが同じように苦戦しながら形づくる作業は、それぞれの活動でありながら、確かに交流を感じさせるものでした。

この日作った鉢に、クロッカスの球根を植えました。花壇のチューリップと同様、芽生えを楽しみにしています。

三学期、「もつすく二年生」を言葉に一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。今学期も様々な場面で一年生を応援してください。

(林 志織)